

お届けの商品について

到着した苗木は、できるだけ早く箱から出し、適切な方法で植え付けましょう。

※個々の植物の特性につきましては、1ページ掲載の「記号について」をご参照のうえ、各ページの表示も合わせてご覧下さい。

お届けする商品の形態

※特別記載のあるもの以外は開花完成品ではありません。

花木・果樹苗



多年草類



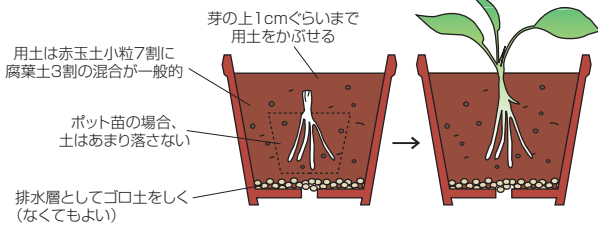
球根類



多年草

冬に地上部が枯れて、根や芽の状態が春まで休眠する宿根草と、冬も地上部が枯れずに休眠しない常緑の多年草とがあります。苗はポット苗か、水苔等で根を巻いた地掘苗でお送り致します。ポット苗は、できるだけ根鉢を崩さないようにして植え付けましょう。用土はできるだけ同じようなものを使うと失敗がありません。地掘苗は、水苔をすべて取り除き適切な培養土に早目に植え付けましょう。植え付け後は、露地植え、鉢植えともにたっぷりと水やりをして下さい。休眠期に苗が届いた場合は、葉茎などの地上部が何も出ていない植物もありますが、全く問題ありません。春になると元気に芽を出してあなたに微笑みかけてくれるでしょう。

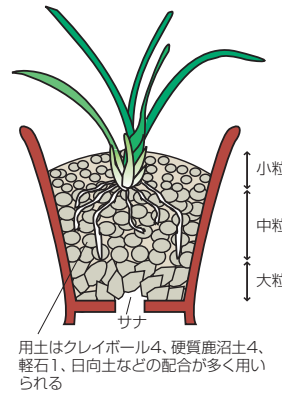
多年草(宿根草)の植え方



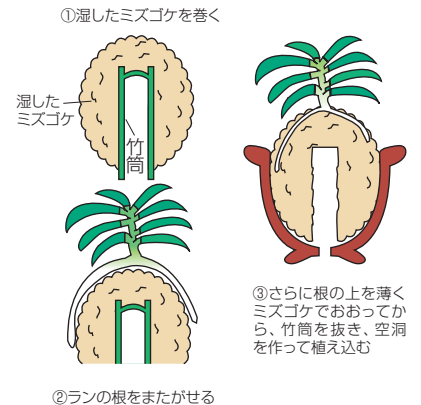
東洋蘭・古典植物

東洋蘭は砂を使って鉢植え栽培とします。鉢は根を入れてみて、やや小さ目と思うぐらいの素焼鉢か楽焼鉢を使用します。鉢の底には、排水を良くするために軽石等の大粒をひとならべします。植え込み用土は、クレイバーストや硬質鹿沼土、軽石、日向土を混ぜて図を参照しながら植え付けましょう。植え付け後、竹べら等を鉢の中に差し込み、根の間によく用土が入るようになじませてから、たっぷり水やりをして下さい。長生蘭、富貴蘭は水苔単用で栽培します。植え方は図を参照して下さい。特に加湿を嫌いますので、長雨には当てないように注意して下さい。

東洋蘭の植え付け方



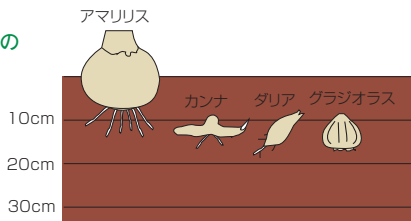
富貴蘭・長生蘭の植え付け方



春植え球根

春植え球根は、亜熱帯や熱帯を原産地とする寒さに弱い種類です。湿度の十分高い春から夏にかけてさかんに生長し、夏から秋にかけて花を咲かせます。ほとんどは、地温が15℃ぐらいになると萌芽、発根し始めるので、凍結する危険がなくなったらできるだけ早急に植え付けましょう。ほとんどの種類は多湿を嫌うので、水はけのよい場所を選び、堆肥や腐葉土を混ぜておきます。深さは図を参照して、球根の高さの通常2倍になるように植えましょう。ベンレート水和剤等に1時間ほど浸して殺菌した後、日陰でいったん乾かしてから植えるとさらに万全です。

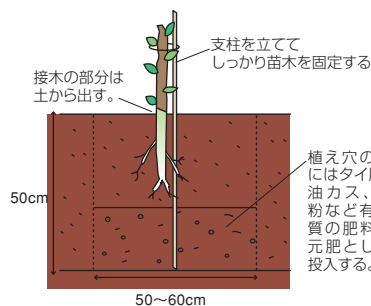
春植え球根の植え付け方



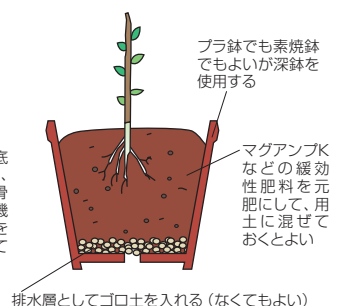
花木・果樹

花木と果樹は、ポット苗か、水苔等で根を巻いた地掘苗の状態でお送り致します。ポット苗は、できるだけ根鉢を崩さないようにして植え付けましょう。素掘苗は、水苔をすべて取り除いた後、半日ほど根をたっぷり水にひたして吸水させて下さい。露地植えの場合は、あらかじめ腐葉土や堆肥を十分混ぜた場所に深植えにならないように注意して植え付けます。苗木には支柱を添え、植付け後は必ず十分に水を与えて、根と土を密着させます。カキやナツメなど、芽出しの遅い植物もありますので、ご心配なく。鉢植えの場合は、図を参照しながら植え付けを行ないます。水やりは土の表面が白く乾いたら行なうことを基本とします。

花木・果樹の植え付け方(露地)



花木・果樹の植え付け方(鉢)



洋ラン

洋ランはポット苗が原則ですが、着生蘭の中にはコルク付きのものもあります。ほとんどの洋ランは春から秋にかけて戸外で栽培できます。直射日光の当たらない木陰に吊るすか棚の上に鉢を置いて栽培しましょう。冬の最低温度は種類ごとにちがいますので、予め確認して下さい。一般に春から夏までが生長期で、水やりは多目にします。空中湿度を好みますので、シリンジを行なうのも効果的です。冬は休眠期間ですので、反対に水やりは少な目にと、根腐れ等の失敗を防ぐことができます。

洋ランの植え付け方

